南海トラフ地震に備える皆様、各自治体防災・環境政策担当の皆様

(独)環境再生保全機構 環境研究総合推進費
公開シンポジウム

われわれは 巨大地震にどう備え どう向き合うべきか

私たちの街の 未来のために

災害廃棄物の適切な処理は、震災直後の円滑な応急体制を整備する上で必要性が高く、また、その後の安定した生活へのいち早い復興のために重要なものです。

本補助金は、2015年度から3年間継続して取組んでおり、今年度は最終年度を迎えます。

巨大地震に対するサステイナブル(持続可能)な具体策をみなさまに提言いたします。



日時
2018年
1月26日(金)
13:00～16:00

会場
関西大学 梅田キャンパス 8階
KANDAI Me RISEホール

定員
100名(要事前申込)
※当日、お申込みなしの参加も可能です。

入場無料

シンポジウム参加お申込み方法

お申込みフォーム
http://bit.ly/2zTDzmN
右記QRコードよりお申込みフォームへアクセスしてください。

Mail
hojyokin@ml.kandai.jp
メールにてお申込みされる方は、上記アドレスに件名を「1月26日シンポジウム参加希望」として必要事項(氏名・所属・メールアドレス・電話番号)を記載のうえお申込みください。

TEL
06-6368-0113
(平日 9:00～17:00)
関西大学
研究支援・社会連携グループ
担当:稲山
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

■趣旨

阪神・淡路大震災や東日本大震災を経験した日本は、近い将来に高い確率で発生するとされる南海トラフ地震等の大地震に対して、サステイナブルな適応策を講じることが要求されている。また、熊本地震をはじめとして各地で被害が発生している事例も多くあり、これらをふまえた実効性のある方策を整えていく必要性がある。特に、災害廃棄物の適切な処理は、直後の円滑な応急体制を整備する上で必要性が高く、また、その後の安定した生活へのいち早い復興のために重要なものである。とりわけ、事前からの対応が求められる上に、地域連携および他の応急・復興活動との連携など、総合的な観点から捉えられるべきものである。地震発生の想定としての期間である数十年を考えたときにはさらに、社会変化によって影響を受け、その変化をリスクと考えれば、それを十分にふまえた適応策を講じることが肝要である。

本シンポジウムは、南海トラフ地震に向けた分析・対応事例も加え、被災量の評価、処理場や輸送、リサイクルも含めた総合的な計画論の立場から、今後の巨大地震に対するサステイナブルな適応策を議論することを目的とする。災害廃棄物に軸足を置きつつも、適応策を考える上では、総合的な観点からこれを検討したい。

■プログラム

司会 尾﨑 平(関西大学 環境都市工学部 准教授)

開会/挨拶 13:00－13:10
環境研究総合推進費プログラムオフィサー
石井 克明 (一般社団法人 国際環境研究協会)

報告1 研究報告 13:10－13:20
ST1 震災・社会リスクをふまえたレジリエント政策の評価
北詰 恵一 (関西大学 環境都市工学部 教授)
小林 晃 (関西大学 環境都市工学部 教授)

13:20－13:50
ST2 震災被害想定に応じた震災廃棄物量のコンティンジェント推定の評価
尾﨑 平 (関西大学 環境都市工学部 准教授)
盛岡 通 (関西大学 先端科学技術推進機構 研究員)

13:50－14:20
ST3 震災廃棄物と再資源化物の輸送にかかる脆弱性と輸送効果の評価
秋山 孝正 (関西大学 環境都市工学部 教授)
井ノ口 弘昭 (関西大学 環境都市工学部 准教授)

14:20－14:25 休 憩

14:25－14:55
ST4 社会リスク評価を介した震災廃棄物の処理・リサイクル拠点の適地評価
厳 網林 (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)
古谷 知之 (慶應義塾大学 総合政策学部 教授)

14:55－15:25
ST5 震災廃棄物の環境上適正な資源化技術の開発と評価
鶴田 浩章 (関西大学 環境都市工学部 教授)
上田 尚史 (関西大学 環境都市工学部 准教授)

15:25－15:30 休 憩

報告2 研究総括 15:30－15:50
「巨大地震による震災廃棄物に関わる社会リスクをふまえたサステイナブルな適応策評価」
北詰 恵一 (関西大学 環境都市工学部 教授)

閉会/挨拶 15:50－16:00
吉田 宗弘 (関西大学 研究推進部 部長／化学生命工学部 教授)

■研究代表者紹介



北詰 恵一 (きたづめ けいいち)
関西大学 環境都市工学部 教授

1989年東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻を修了し、同年に株式会社野村総合研究所に入社。1996年より東北大学助手を経て、2002年より現職。

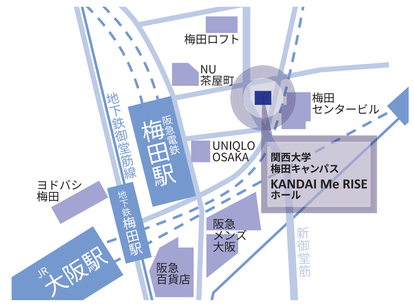
専門は、地域・都市計画。(独)環境再生保全機構による環境研究総合推進費補助金3K153008「巨大地震による震災廃棄物に関わる社会リスクをふまえたサステイナブルな適応策評価」(2015-2017年度)の研究代表を務める。

現地調査



■会場

関西大学 梅田キャンパス 8階
KANDAI Me RISEホール
〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号
TEL:06-4256-6410
http://www.kansai-u.ac.jp/umeda/



阪急「梅田駅」茶屋町側から徒歩5分
JR「大阪駅」から徒歩10分
※梅田キャンパスへお越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

平成29年度(独)環境再生保全機構 環境研究総合推進費 3K153008「巨大地震による震災廃棄物に関わる社会リスクをふまえたサステイナブルな適応策評価」

主催 関西大学